

南港発電所、最新の高効率コンバインドサイクル機への設備更新検討開始
～発電効率4割向上、計画段階環境配慮書の提出～

2023年3月20日
関西電力株式会社

当社は、南港発電所について設備更新のための事業性評価を実施することとしました。その一環として、本日、環境影響評価法に基づき計画段階環境配慮書等^{*}を経済産業大臣へ提出し、大阪府知事へ意見を求めました。

配慮書等は、本年3月23日から4月21日まで、関係行政機関および当社ホームページで公表します。

南港発電所は運転開始後30年以上経過した当社で最も古いLNG火力発電所で、設備の高経年化が進んでいます。本発電所を最新の高効率コンバインドサイクル機に更新することで、発電効率が約4割向上します。これにより、既存設備の時よりもCO₂排出量が削減できます。

当社は今後、地域の皆さまや関係行政機関からのご意見を賜り、本件に関する検討を進めてまいります。

^{*}環境の保全について適正な配慮をするべき事項について検討を行い、その結果をまとめたもの。

<参考：南港発電所の設備更新計画（概要）>

	現 状	設備更新（計画）
所在地	大阪府大阪市住之江区南港南7丁目3番8号	
発電方式	汽力発電方式	コンバインドサイクル発電方式
出 力	180万kW (60万kW×3基)	約180万kW (約60万kW×3基)
発電効率 (低位発熱量基準)	約44%	約63%
使用燃料	天然ガス	天然ガス
運転開始時期	1990年11月(1号機) ～1991年10月(3号機)	2029年度

配慮書の公表及び縦覧案内については [こちら](#) をご覧ください。

以 上